

令和4年度（2022年度）

**福井県立大学生物資源学部
編入学学生募集要項**

創造農学科《第3年次》

出願期間 2021年12月20日（月）～2022年1月4日（火）
選抜期日 2022年1月29日（土）



福井県立大学

Fukui Prefectural University

福井県立大学 オープン・ユニバーシティ

福井県立大学では、建学の理念である「魅力ある大学」、「個性ある大学」、「開かれた大学」を具体化するとともに、公立の大学として県民からの要請に応えるために、「福井県立大学オープン・ユニバーシティ」を目指して、次の3つの柱を基本に取り組んでいます。

▶ 県民のにわ

本学のキャンパスを学生にはもちろん、県民の方々にも広く開放し、県民が集い交流できる、楽しく創造的な活動拠点とします。「県大レストラン」では、明るい雰囲気の中で楽しく食事をしながら県民同士が交流する。大学構内には桜を植樹し、春には桜の名所として人々が集う。県大キャンパスを、そんな「県民のにわ」にしたいと思っています。

▶ 県民の学び

生涯学習時代の各ライフステージに応じた「県民の学び」を、公立大学としてサポートします。県民向けの公開講座では、図書館ロビーでコーヒーを楽しみながら気楽に学べる「ライブラリーカフェ」や県内で活躍する企業の社長から学ぶ講座など、多様な講座を用意。その他にも、地域の方が学生と同じ授業を受講できる「聴講生」制度など、子どもから大人まで、気軽に立ち寄り学べる場づくりに力を入れています。

▶ 県民・地域とのつながり

「県民・地域とのつながり」を大切に、県内外のあらゆる自治体や企業・団体、それらに属する様々な人々とのネットワークを強化していきます。2017年6月には、地域からの相談を受け付け、大学と地域とをつなぐ「地域連携本部」を開設。教育分野・研究分野を問わず、県民の幅広いニーズに応えることができる大学を目指します。

目 次

入学者受入方針	1
I 入学者選抜要項	
1 募集人員	3
2 編入学の時期および編入学年次	3
3 出願資格	3
4 選抜方法	4
5 配 点	4
6 試験会場	4
7 受験上の注意事項	4
8 入学者選抜の変更について	5
9 出願手続	5
10 合格発表	8
11 成績の開示	8
II 入学手続、初年度納付金等	
1 入学手続	9
2 初年度納付金	10
3 その他	10
III 編入学後の履修等	12
IV 個人情報の取扱いについて	13
V 出願資格（5）により出願する者について	14
一般教育科目の履修	15
生物資源学部専門教育科目の履修	21

■添付書類（以下の各書類が同封されていることを確認してください。）

A 票	志願票
B 票～C 票	写真票、受験票
D 票	振込依頼書・振込受取書・検定料振込受付証明書（三連）
E 票	編入学志願理由書
F 票	編入学後および卒業後の計画書
G 票	受験票返送用封筒
H 票	出願用封筒
・出願資格（5）により出願する者についての事前審査用	
様式 1	編入学資格認定申請書
様式 2	履歴書

入 学 者 受 入 方 針

【大学の理念・目的】

福井県立大学は、時代の発展に即応した学術文化の高度化を推進する拠点として、真理探究の精神、広い視野と豊かな創造力、高度で専門的な知識・技術を有する有為な人材を養成するとともに、先進的な科学の研究および技術の開発を行い、学術情報を地域社会へ開放することにより、福井県はもとより、わが国の産業と文化の発展に寄与することを目的とし、もって人類の永続的福祉の向上に貢献することを使命としています。この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げています。

- ① 新しい時代にふさわしい魅力ある大学
- ② 特色ある教育・研究を行う個性ある大学
- ③ 地域社会と連携した開かれた大学

【教育目標】

- ① 学問への関心を引き出すとともに、全人的教養を身につけ、自立した個人として成長できる能力を養う。
- ② 科学の飛躍的発展に対応できる高度な知識や技術とともに、専門職にふさわしい態度を身につけ、社会のニーズに対応できる能力を養う。
- ③ 少人数教育の特色を活かし、思考力・判断力・表現力・創造力・コミュニケーション力などを併せ持った総合的人間力を身につけ、社会・個人との豊かな関わりを持つことができる能力を養う。
- ④ 国際化、情報化、少子高齢化などの時代の変化を踏まえ、生命と環境、経済・社会、医療福祉の問題など新たな課題に取り組む能力を養う。
- ⑤ 自ら学問を探究する態度を身につけ、個性ある研究が行える能力を養う。
- ⑥ 地域社会との連携を深め、地域住民と協働した社会づくりに貢献できる態度を養う。

生物資源学部

【理念・目的】

生物資源学部は、生物資源にかかわる諸領域において以下の教育研究活動を推進することにより、地域社会、日本、世界の産業と文化の発展に寄与し、もって人類の将来にわたる福祉の向上に貢献します。

この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げます。

- ① 時代の進展に即応した学術文化の高度化の推進と、それに寄与できる人材の育成
- ② 自主的な真理探究の精神、広い視野および豊かな創造力を有し、基礎的および専門的な知識と技術を備えた実践力ある人材の育成
- ③ 学術情報の地域社会への開放

【教育目標】

責任ある社会人として必要な教養と倫理観を身につけるとともに、価値観のゆらぐ現代社会において変化するものとしなないものを見極め、現象の本質に科学的に迫り、生物資源にかかわる諸問題、特に持続可能な社会の構築に関して、最新の専門知識と先端技術を用い適切な対処ができる能力を養います。

創造農学科

「食と農と環境」に関連する広範囲な分野で中心的に活躍するための知識と技術と経験を備えた人材を育成します。そのため、次の教育目標を定めます。

- ① 食用作物、園芸作物、飼料作物、家畜など、多様な農林畜産物に関する農学的知識を身につけ、農業生産に関する広範囲な実践的素養を体得する。
- ② 農林畜産物の生産・利用法・加工・商品開発やマーケティング等の分野における最先端の技術を学び、次世代展開を図るために必要な知識と技術を身につける。
- ③ 食と農と人（文化、芸術、福祉）を取り巻く環境について、地域や日本、世界の状況を知り、特に地域においては、その保全や修復の実践を通して学び、持続可能な環境や地域社会の構築に向けて行動するために必要な知識と技術を身につける。
- ④ 必要な情報収集能力を身につけるとともに、自らの考えを論理的に表現し議論するための対話能力と文章作成能力を身につける。
- ⑤ 技術的な課題を自ら見出し、安全や環境に配慮するなど、限られた条件の下で設計・解決する能力を身につける。また、課題解決に向けて、互いに協力して仕事をする能力を身につける。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

生物資源学部の教育目標に従い、求める学生像や、大学入学までに身につけておくべき教科と科目に関して、次のように定めます。

創造農学科

「食と農と環境」に興味と関心を持つとともに、これに関連する様々な体験をしたいという意志があり、将来、関連する分野で活躍しようという意欲と希望を持つ学生を求めます。

創造農学科で学ぶためには、高等学校等における幅広い基礎学力が必要です。さらに、自分の考えを自分の言葉で表現でき、他者と適切にコミュニケーションがとれるよう努力することが重要です。

I 入学者選抜要項

1 募集人員 5名

2 編入学の時期および編入学年次

編入学の時期は、令和4年（2022年）4月1日とし、編入学年次は第3年次とします。

3 出願資格

次に掲げる（1）～（9）のいずれか一つに該当する者

- （1）大学を卒業したものまたは令和4年（2022年）3月卒業見込みの者
- （2）他の大学に2年以上在学（令和4年（2022年）3月までに2年間在学となる者を含む。）し、62単位以上修得した者または令和4年（2022年）3月までに修得見込みの者
- （3）短期大学、高等専門学校を卒業した者または令和4年（2022年）3月卒業見込みの者
- （4）専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であり、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が文部科学大臣の定める授業時数以上であるものに限る。）を修了した者または令和4年（2022年）3月までに修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する者に限る。）
- （5）外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者または令和4年（2022年）3月までに修了見込みの者
- （6）外国の短期大学を卒業した者、または外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が指定するものの当該課程を我が国において修了した者
- （7）国立工業教員養成所または国立養護教員養成所を卒業した者
- （8）大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または令和4年（2022年）3月までに授与される見込みの者
- （9）高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科または特別支援学校の高等部の専攻科（修業年限が2年以上であり、かつ、課程の修了に必要な総単位数その他の事項が文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）を修了した者または令和4年（2022年）3月修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する者に限る。）

注： 出願資格（5）により出願する者は、出願資格審査を受ける必要があります。

14ページを参照し、**令和3年（2021年）11月30日（火）（当日消印有効）までに**福井県立大学入学試験本部（入試企画室）に必要書類を提出してください。

注： 出願資格（9）の文部科学大臣が別に定める基準とは、平成28年3月30日文部科学省告示第63号および第64号の規程のことです。

4 選抜方法

(1) 試験期日

令和4年(2022年)1月29日(土)

(2) 試験方法

入学者の選抜は、2段階選抜により行います。

①第1次選抜

志願理由書および編入後および卒業後の計画書の内容を総合して行います。

②第2次選抜

面接および5分間の自己アピールプレゼンテーションの内容を総合して行います。

(3) 試験時間

時 間	試 験 科 目
10:00～18:00	面接・自己アピールプレゼンテーション

①面接では本学科で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。

②面接時間の指定は、第1段階選抜の合格通知に同封する書面によります。

③自己アピールプレゼンテーションでは、プレゼンテーションを効果的に行う為の小道具や資料の持ち込みと使用を認めますが、プレゼンテーションの発表原稿の使用は認めません。

プレゼンテーションに必要なものは、各自で準備してください。ただし、準備物によっては面接者が使用を許可しない場合があります。面接者の指示に従ってください。

5 配点

面 接 (プレゼンテーション含む)	出願書類	合 計
100	100	200

6 試験会場

福井県立大学永平寺キャンパス 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1

7 受験上の注意事項

- (1) 受験者は、指定された集合時刻までに、決められた受験者控室に集合し、待機してください。
- (2) 面接開始時刻に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- (3) **当日は、受験票を必ず持参**してください。
- (4) 当日、受験票を忘れた方は、速やかに試験会場の試験本部で仮受験票の交付を受けてください。

また、**受験票は、入学手続、成績開示の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。**

- (5) 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。
- (6) 携帯電話等は、受験者控室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。
待機時間に携帯電話等を操作した場合、「不正行為」とみなしますので注意してください。
- (7) 試験会場では昼食の販売を行いませんので、必要に応じて弁当を持参してください。
- (8) 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為や危険な行為はしないでください。
- (9) 事前に試験会場の下見ができますが、建物内には立ち入らないでください。
- (10) その他必要が生じた場合には、第1段階選抜の合格通知の際にお知らせします。

8 入学者選抜の変更について

新型コロナウイルス感染症の影響により、入試日程や実施方法が変更となる場合があります。変更された際には本学ホームページにて随時公表します。最新の情報をご確認いただき、変更の可能性があることをご了承いただいたうえ出願をお願いします。

ホームページアドレスは <https://www.fpu.ac.jp> です。

9 出願手続

(1) 出願期間

令和3年(2021年)12月20日(月)～令和4年(2022年)1月4日(火)
(当日消印有効)

(2) 出願方法

出願は、所定の出願用封筒を用い、**書留速達扱いの郵送**によってください。

(3) 出願先

福井県立大学入学試験本部(入試企画室)
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

(4) 出願書類

区 分	備 考
①志願票 A 票	所定の用紙に本人が記入してください。
②写真票 B 票	縦4cm×横3cmの写真(正面上半身無帽、背景なし、出願前3ヵ月以内に単身で撮影したもの)を所定欄に貼付してください。
③受験票 C 票	所定の用紙に本人が記入してください。

区 分	備 考
<p>④検定料振込受付証明書 (検定料振込受付証明書貼付欄にのり付けすること)</p>	<p>同封の振込依頼書(三連)を持参のうえ、金融機関(郵便局、ATM、インターネット、コンビニエンスストアを除く)の窓口で17,000円を納入してください。 納入時には、「検定料振込受付証明書」に金融機関の「振込受付日付印」が押されていることを必ず確認し、「検定料振込受付証明書貼付欄」にのり付けしてください。</p> <p>なお、検定料は、令和3年(2021年)12月13日(月)～令和4年(2022年)1月4日(火)の金融機関窓口受付終了時刻までに振込んでください。</p> <p>※ 納入済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>① 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった、または出願が受理されなかった)場合 ② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合 ③ 第1次選抜で不合格となった場合 (検定料のうち13,000円を返還)</p> <p>返還請求の方法 「検定料振込受付証明書」を添付の上、検定料返還請求書を下記住所まで郵送してください。期限・請求書様式など詳細は本学ホームページ【https://www.fpu.ac.jp】をご覧ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>福井県立大学財務課 〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1 電話 0776-61-6000 (内線 1037)</p> </div>
<p>⑤志願理由書 E 票</p>	<p>所定の用紙に本人が記入してください。</p>
<p>⑥編入学後および卒業後の計画書 F 票</p>	<p>所定の用紙に本人が記入してください。</p>
<p>⑦卒業証明書または卒業見込証明書等</p>	<p>卒業(見込)証明書または大学在学中の者については、在学証明書、中途退学の者については、在籍期間証明書を提出してください。 大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与(見込)された者は、学士の学位授与(申請受理)証明書を提出してください。</p>
<p>⑧成績証明書</p>	<p>最終(修了)学校または在学中の学校の成績証明書を提出してください。</p>
<p>⑨受験票返送用封筒 G 票</p>	<p>所定のものに、受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記し384円分の切手を貼ってください。</p>

(注) 1 専修学校の専門課程を修了した者および令和4年(2022年)3月修了見込みの者は、所定の出願書類の他にいずれかの書類を提出してください。

(1) 修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程を修了または修了見込みを証明する書類

(2) 専門士の称号の付与が認められた専門課程を修了したことを証明する書類

2 外国語で書かれた書類については、大使館・出身学校・公的機関等で証明を受けた日本語訳を添付してください。また、翻訳元となった書類の原本を提出してください。原本が提出できない場合は、大使館・出身学校・公的機関等で原本証明されたものを提出してください。

3 日本国内居住の外国人は、市町村等発行の住民票(在留資格が明記されたもの)を提出してください。海外居住者は、パスポート(姓名および国籍が記載されたページ)の写しを提出してください。

4 高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科および特別支援学校の高等部の専攻科の課程を修了した者または令和4年(2022年)年3月修了見込みの者は、所定の出願書類の他に修了する課程または修了した課程の修業年限が2年以上で、かつ、文部科学大臣が別に定める基準を満たすものであることについて出身学校が発行する証明書を提出してください。

(5) 障害を有する入学志願者等との事前相談

障害を有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願の前にあらかじめ福井県立大学入学試験本部(入試企画室)まで連絡し、相談してください。相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、十分な配慮による受験ができない場合もありますので、なるべく早く相談してください。

①相談の時期 出願期間開始前まで

②相談の方法 相談書(様式は自由で、健康診断書等必要書類を添付したもの)を提出してください。必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代替できる関係者等との面談を行います。

③連絡先 福井県立大学入学試験本部(入試企画室)

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1

電話 0776-68-8297

FAX 0776-61-6012

(6) 出願手続上の注意事項

① 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、出願の際に十分確認してください。出願は郵送のみとし、出願期間最終日までの消印があるものだけに限り有効とします。

② 入学許可の後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

③ 出願受付後には、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、福井県立大学入学試験本部(入試企画室)まで連絡してください。

④ 令和4年(2022年)1月11日(火)までに受験票が届かない場合は、福井県立大学入学試験本部(入試企画室)までお問い合わせください。

⑤ 一度受付をした出願書類は、理由のいかんを問わず返却しません。

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡◇

不測の事態により、試験日程や選抜内容など募集要項の内容に変更が生じた場合は、本学ホームページ等でお知らせしますので、出願前や受験前は特にご注意ください。

- ・ホームページアドレス <https://www.fpu.ac.jp>
- ・連絡窓口 福井県立大学入学試験本部（入試企画室） 電話 0776-68-8297

10 合格発表

(1) 発表日時

令和4年（2022年）2月7日（月）13時

〔第一段階選抜 令和4年（2022年）1月14日（金）13時〕

(2) 発表方法

合格通知書を本人あて郵送します。

また、合格者の受験番号を本学のホームページに掲載します。ホームページのアドレスは、<https://www.fpu.ac.jp> です。ただし、これは参考情報ですので、合否の確認は合格者に送付する合格通知書で行ってください。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

11 成績の開示

本学の受験者本人に限って、個人成績を開示します。

希望者は、次により申し込んでください。

(1) 令和4年度（2022年度）入学試験成績開示の申込期間

令和4年（2022年）4月25日（月）から令和4年（2022年）5月24日（火）まで

(2) 申込者 受験者本人に限ります（代理人は不可）。

(3) 申込先 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）

(4) 申込方法

【窓口での申込】

・本学受験票を持参の上、所定の「入学試験成績開示申込書」により申し込んでください。

【郵便での申込】

- ・次の1～3を同封して申込期間内に到着するよう郵送してください。
- ・申込後1月程度にて受験者本人あて書留郵便で送付（受験票も返却）します。

- 1 所定の「入学試験成績開示申込書」
- 2 受験票（本人確認のため使用・コピー不可）
- 3 返信用封筒

※1 返信用封筒の大きさ：長型3号

※2 郵便番号、住所、あて名を記載し、切手519円分を貼り付けてください。

(5) 開示の内容

個人成績 面接・出願書類ごとの点数および総合点

(6) 開示方法

- ・ 閲覧または郵送により開示します。
- ・ 郵送による開示は、受験者本人あて書留郵便で送付（受験票も同封し返却）します。

(7) 問い合わせ・郵送先

福井県立大学入学試験本部（入試企画室）
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1
電話 0776-68-8297

II 入学手続、初年度納付金等

1 入学手続

(1) 入学手続期間

令和4年（2022年）2月8日（火）～令和4年（2022年）2月15日（火）
（当日消印有効）

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続に必要な書類は、合格発表後に郵送します。
- ② 書類提出は、**書留速達扱いの郵送**によってください。
- ③ 入学手続を完了した方には、入学許可証を郵送します。

(3) 入学手続先

福井県立大学入学試験本部（入試企画室）
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1

(4) 入学手続上の注意事項

- ① 入学手続期間内に手続きを完了しなかった方については、入学を辞退したものととして取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、書類の提出の際に、十分確認してください。
- ③ 一度受付をした入学手続書類および入学料は、理由のいかんを問わず返却しません。

2 初年度納付金

(1) 入学料

入学手続きの際には、次の金額の入学料を納付する必要があります。

福井県内の者 188,000円

上記以外の者 282,000円

(注) 福井県内の者とは、以下のいずれかに該当する者のことをいいます。

- ① 令和3年(2021年)4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有する者
- ② 令和3年(2021年)4月1日以前から引き続き福井県内に1親等の親族が住所を有する者
- ③ 理事長がこれらに準ずると認める者

(2) 授業料

金額 年額 535,800円(令和3年度実績)

納付方法 前期(納付期限:令和4年(2022年)5月12日)、後期(同11月12日)の2回に分けて徴収します。

(注) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

3 その他

(1) 入学料・授業料の免除制度

国が行う高等教育の就学支援新制度の対象大学となっています。本制度の対象者として認定された場合は、入学料・授業料が全部または一部免除されます。

(2) 奨学金

◆奨学金の種類

奨学金には、日本学生支援機構と、その他地方公共団体や公益法人・営利法人等が行うものがあります。

奨学金には、貸与(返還義務のあるもの)と給付(返還義務のないもの)があり、多くの奨学金は貸与奨学金です。卒業後には、返還義務が生じますので、注意してください。

◆日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構は、成績(学業)の優れた学生で、経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学金の給付、貸与を行っております。

<種類>

・給付奨学金

入学料・授業料免除と併せて給付される、返還義務のない奨学金です。ただし、学業成績の不振等がある場合は、返還を求められる場合もあります。(大学院、留学生は対象外です。)

- ・ 第一種奨学金

返還義務のある無利子の奨学金です。給付奨学金と併給するばあいは、月額に制限が設けられます。

- ・ 第二種奨学金

返還義務のある有利子の奨学金です。給付、第一奨学金との併給も可能です。

(3) 麻疹（はしか）、風疹（三日はしか）の流行予防の手続き

学内での麻疹（はしか）、風疹（三日はしか）の感染症の流行を防止するため、入学手続の際にこの予防接種の記録を提出していただきます。2回以上の接種記録がない場合などは、予防接種を受けていただくことがあります。

(4) 下宿・アパート

下宿・アパートについては、本学事務局就職・生活支援課で情報の提供を行います。

福井県立大学就職・生活支援課 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1

電話 0776-61-6000（内線 1028）

(5) 受験の際の宿泊について

宿泊施設のあっせんは行っておりません。

Ⅲ 編入学後の履修等

1 修業年限

修業年限は2年とします。ただし、編入学時における既修得単位の認定数等により、2年を超える在学年数が必要となることがあります。

2 卒業資格

卒業の要件は、2年以上在学し、編入学時に認定された単位と合わせて下記の本学部所定の卒業要件単位を修得することです。一般教育科目および専門教育科目の履修およびカリキュラムについては、本冊子15ページ以降の「一般教育の履修方法」および「生物資源学部専門教育の履修方法」を参照してください。

創造農学科卒業要件単位

一般教育科目	40単位
専門教育科目	84単位
合計	124単位

3 既修得単位の取扱い

編入学前に大学等で修得した科目の単位（既修得単位）は、編入学後に定められた手続による審査で認められれば、本学部の卒業要件単位として認定されます。

IV 個人情報の取扱いについて

福井県立大学では、個人情報について以下のとおり取扱いますので、予めご了承ください。

- (1) 個人情報は、「福井県個人情報保護条例」および「公立大学法人福井県立大学個人情報保護取扱規程」に基づき、適正に処理します。法令等の規定に基づくときなどの例外を除き、原則として、第三者に提供することはありません。
- (2) 本学への出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所およびその他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査、研究、分析、⑤およびこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査、研究、分析を行うために利用します。
- (4) 各種業務での利用においては、一部の業務を外部委託する事があります。この場合、受託者には個人情報の保護が義務づけられます。
- (5) 本学への出願にあたってお知らせいただいた個人情報および入試成績は、入学者のみ入学後の、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

V 出願資格（５）により出願する者について

1 事前審査

出願資格（５）により出願する者については、あらかじめ次の①～④の書類・封筒を**令和３年（2021年）11月30日（火）までに**、福井県立大学入学試験本部（入試企画室）へ提出してください。

郵送の場合は、書留郵便で封筒の表に「3年次編入学試験 出願資格（６）事前審査申請」と朱書きし、出願資格の有無について事前照会をしてください。

- ① 編入学資格認定申請書（様式１）
- ② 履歴書（様式２）
- ③ 最終（修了）学校または在学中の成績証明書
- ④ 返信用封筒（住所・氏名を明記した長形３号（120×235mm）のもの（８４円分の切手貼付））

本学部で事前審査を実施し、その結果は令和３年（2021年）12月20日（月）までに本人あて通知します。

2 事前審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を出願期間内に郵送してください。

なお、事前審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類等は事前に準備しておいてください。

一般教育科目の履修

一般教育の履修方法

本学の一般教育の目標は、自らの特性や能力を引き出し伸ばす基盤としてのバランスの取れた知識を身につけ、理性と感性が調和した新しい時代を担うにふさわしい教養を身につけた人間の形成にある。

授業科目の区分		生物資源学部	配当年次 (主たる履修年次)			
基礎科目	ゼミ	1 単位	1			
	導入ゼミ					
		教養ゼミ※1	1			
		外国語 ※2	8 単位以上	1	2	
		体育 ※3	1 単位以上	1		
		情報	2 単位以上	1	2	
		日本語 ※4		1		
	基礎科目 必要単位数	15 単位以上				
自由科目	A群	10 単位以上	1	2	3	
	「福井と地域社会」から 2 単位以上選択必修					
	B群	言語文化		2	3	4
		運動処方論		2		
		情報処理 A～E	1	2	3	4
		プログラミング A～E	1	2	3	4
C群	学術ゼミ (分野) A～F		2	3	4	
	英語特論 I～VII A～F	1	2	3	4	
卒業要件単位数		40 単位				

※1 教養ゼミは選択科目 (1 単位)

※2 外国語のうち、英語 I は必修科目 (1 単位)、英語 II a または英語 II b のいずれか 1 単位が選択必修科目。

※3 体育のうち、体育実技 I は必修科目 (1 単位)

※4 外国人留学生を主対象として開講される科目であり、**日本人学生は受講できない。**

(注 1) 「配当年次(主たる履修年次)」より高年次の学生でも履修することができる。

また、一度単位を修得した授業科目は再度履修しても単位は与えられないが、「英語 II a、英語 II b」については、**教材が同一でないこと**を条件として、何度でも履修することができる。

(注 2) 基礎科目は、必修科目 12 単位 (導入ゼミ 1 単位 + 外国語 8 単位 + 体育 1 単位 + 情報 2 単位) に加えて、教養ゼミ、外国語、体育、情報、日本語から 3 単位以上を修得し、計 15 単位以上を修得する必要がある。

(注 3) 一般教育科目は、基礎科目 15 単位と自由科目 A 群 10 単位の計 25 単位に加えて、基礎科目、自由科目 A～C 群から 15 単位修得し、卒業要件単位数として 40 単位修得する必要がある。

1 基礎科目

大学教育を受けるための基礎能力涵養を目的とした、訓練的な要素の強い科目群である。予習・復習を自発的に行う必要がある。半期 (約 15 回の授業) の履修で 1 科目 1 単位が与えられる。

2 自由科目

学生が所属する学部や専攻の領域にとらわれず、幅広い教養と自発的な学習意欲を培うことを目指した講義科目群である。履修にあたっては読書や社会・文化・自然現象への絶えざる関心など、自学自習の精神で臨むことが期待される。半期 (約 15 回の授業) の履修で 1 科目 2 単位が与えられる。講義の形態により、A・B・C の 3 群に分類される。

一般教育科目カリキュラム表
卒業要件単位数 40単位以上

		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
				必修	選択		
基礎科目	I ゼミ	導入ゼミ	1	1		15単位以上 ただし、必修科目以外はどの基礎科目で単位を積み足してもよい。 <u>外国語は8単位以上修得しなければならない。</u> 英語Ⅱa、Ⅱbは複数の種類の授業が開講され、何単位でも修得することができる。 英語Ⅱa、Ⅱbから一つ以上を選択する。 中国語、韓国朝鮮語、ドイツ語、フランス語、ロシア語のⅠおよびⅡ、外国語特講E、Fは、それぞれ週2回の授業からなる。原則として2回の授業を連結させ2単位を与えるが、1授業ごとに個別に1単位を与えることができる。 海外語学研修の修得単位数の上限は、英語で4単位、中国語で2単位、英語と中国語をあわせて4単位までとする。	
		教養ゼミ	1		1		
	II 外国語	英語Ⅰ	1	1			
		英語Ⅱa	1・2		各1		
		英語Ⅱb	1・2		各1		
		中国語Ⅰ	1		1+1		
		中国語Ⅱ	1		1+1		
		中国語Ⅲa	2・3・4		1		
		中国語Ⅲb	2・3・4		1		
		中国語Ⅳa	2・3・4		1		
		中国語Ⅳb	2・3・4		1		
		韓国朝鮮語Ⅰ	1		1+1		
		韓国朝鮮語Ⅱ	1		1+1		
		ドイツ語Ⅰ	1		1+1		
		ドイツ語Ⅱ	1		1+1		
		フランス語Ⅰ	1		1+1		
		フランス語Ⅱ	1		1+1		
		ロシア語Ⅰ	1		1+1		
		ロシア語Ⅱ	1		1+1		
		外国語特講A	1・2・3		1		
	外国語特講B	1・2・3		1			
	外国語特講C	1・2・3		1			
	外国語特講D	1・2・3		1			
	外国語特講E	1・2・3		1+1			
	外国語特講F	1・2・3		1+1			
	海外語学研修(英語・中国語)	2・3・4		2			
III 体育	体育実技Ⅰ	1	1				
	体育実技Ⅱ	1		1			
	体育実技Ⅲ	1		1			
IV 情報	情報基礎演習	1		1			
	情報処理基礎演習	1・2・3・4		1			
	統計処理演習	1・2・3・4		1			
	情報科学Ⅰ	1	1				
V 日本語	情報科学Ⅱ	2・3・4		1			
	基礎日本語Ⅰ	1		1			
	基礎日本語Ⅱ	1		1			
自由科目	A群	I 歴史と思想	哲学	1・2・3		2	
			倫理学	1・2・3		2	
			宗教学	1・2・3		2	
			歴史学	1・2・3		2	
			東洋思想	1・2・3		2	
			西洋思想	1・2・3		2	
			日本史	1・2・3		2	
			東洋史	1・2・3		2	
			西洋史	1・2・3		2	
			イスラーム史	1・2・3		2	
			科学史	1・2・3		2	
			II 言語表現と文化	言語学	1・2・3		2
				文学概論	1・2・3		2
				国文学史	1・2・3		2

区分	授業科目	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
自由科目	II 言語表現と 文壇と文化	国文学	1・2・3		2	I～Xまでの領域から、どの自由科目をいくつ選択履修してもよい。
		美学	1・2・3		2	
		美術史	1・2・3		2	
		芸術学	1・2・3		2	
	III 現代の 社会	社会学	1・2・3		2	
		現代家族論	1・2・3		2	
		政治学	1・2・3		2	
		国際関係論	1・2・3		2	
		国際政治学	1・2・3		2	
		経済学	1・2・3		2	
		法学	1・2・3		2	
		日本国憲法	1・2・3		2	
		憲法原論	1・2・3		2	
		現代人権論	1・2・3		2	
	IV 世界 の 文化 と 社会	キャリア形成論	1・2・3		2	
		観光学	1・2・3		2	
		文化人類学	1・2・3		2	
		地理学	1・2・3		2	
		神話学	1・2・3		2	
		比較文化論	1・2・3		2	
		異文化理解	1・2・3		2	
		東アジアの文化と社会	1・2・3		2	
		東南アジアの文化と社会	1・2・3		2	
		アフリカの文化と社会	1・2・3		2	
	※ V 福井と 地域 社会	南米の社会と環境	1・2・3		2	
		日本の文化と社会	1・2・3		2	
		福井の文化と社会	1・2・3		2	
		福井方言と標準語	1・2・3		2	
		海と暮らし	1・2・3		2	
		ボランティア論	1・2・3		2	
		恐竜学	1・2・3		2	
		福井を学ぶ	1・2・3		2	
		地域社会とフィールドワークA	1・2・3		2	
		地域社会とフィールドワークB	1・2・3		2	
		地域社会とフィールドワークC	1・2・3		2	
		地域社会とフィールドワークD	1・2・3		2	
		地域社会とフィールドワークE	1・2・3		2	
		地域社会とフィールドワークF	1・2・3		2	
		地域特講A	1・2・3		2	
		地域特講B	1・2・3		2	
		地域特講C	1・2・3		2	
		地域特講D	1・2・3		2	
地域特講E	1・2・3		2			
地域特講F	1・2・3		2			
VI 健康 と 人間	地（知）の拠点大学による地方創生 推進事業開講科目（1）～（100）	1・2・3		2		
	健康科学	1・2・3		2		
	スポーツ科学	1・2・3		2		
	心理学	1・2・3		2		
	行動科学	1・2・3		2		
	人間関係論	1・2・3		2		
	ジェンダー論	1・2・3		2		
	福祉国家論	1・2・3		2		
VII 自然 と 環境	認知科学	1・2・3		2		
	環境論	1・2・3		2		
	現代の科学	1・2・3		2		
	宇宙科学	1・2・3		2		
	地球科学	1・2・3		2		
	生物科学	1・2・3		2		
	技術の世界	1・2・3		2		
A群	複雑系科学	1・2・3		2		
	生態学	1・2・3		2		
	コケの世界	1・2・3		2		
	健康と人間	1・2・3		2		

※「V 福井と地域社会」から2単位以上を選択すること。

区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
A群	Ⅷ 情報と数理	解析学	1・2・3		2
		代数学	1・2・3		2
		統計学基礎	1・2・3		2
		物理学Ⅰ	1・2・3		2
		物理学Ⅱ	1・2・3		2
		数学基礎 ※	1・2・3		2
		メディア情報処理概論	1・2・3		2
	Ⅸ 教養特講	教養特講A	1・2・3		2
		教養特講B	1・2・3		2
		教養特講C	1・2・3		2
		教養特講D	1・2・3		2
		教養特講E	1・2・3		2
		教養特講F	1・2・3		2
		教養特講G	1・2・3		2
		教養特講H	1・2・3		2
		教養特講I	1・2・3		2
		教養特講J	1・2・3		2
		教養特講K	1・2・3		2
	教養特講L	1・2・3		2	
	Ⅹ 発展自由科目	哲学特殊講義	2・3・4		2
		国文学特殊講義	2・3・4		2
		芸術学特殊講義	2・3・4		2
		社会学特殊講義	2・3・4		2
		政治学特殊講義	2・3・4		2
		現代人権論特殊講義	2・3・4		2
		文化人類学特殊講義	2・3・4		2
		人間関係論特殊講義	2・3・4		2
		歴史学特殊講義	2・3・4		2
		生態学特殊講義	2・3・4		2
		東洋学特殊講義	2・3・4		2
民族学特殊講義		2・3・4		2	
地域研究特殊講義		2・3・4		2	
教養の最前線A		2・3・4		2	
教養の最前線B		2・3・4		2	
教養の最前線C		2・3・4		2	
教養の最前線D	2・3・4		2		
教養の最前線E	2・3・4		2		
教養の最前線F	2・3・4		2		
B群	言語文化（中国）A	2・3・4		2	
	言語文化（中国）B	2・3・4		2	
	言語文化（中国）C	2・3・4		2	
	言語文化（中国）D	2・3・4		2	
	言語文化（韓国朝鮮）A	2・3・4		2	
	言語文化（韓国朝鮮）B	2・3・4		2	
	言語文化（ドイツ）A	2・3・4		2	
	言語文化（ドイツ）B	2・3・4		2	
	言語文化（フランス）A	2・3・4		2	
	言語文化（フランス）B	2・3・4		2	
	言語文化（ロシア）A	2・3・4		2	
	言語文化（ロシア）B	2・3・4		2	
	運動処方論	2		2	
	情報処理A	1・2・3・4		2	
	情報処理B	1・2・3・4		2	
	情報処理C	1・2・3・4		2	
	情報処理D	1・2・3・4		2	
	情報処理E	1・2・3・4		2	
	プログラミングA	1・2・3・4		2	
	プログラミングB	1・2・3・4		2	
プログラミングC	1・2・3・4		2		
プログラミングD	1・2・3・4		2		
プログラミングE	1・2・3・4		2		
C群	学術ゼミ（哲学） A～F	2・3・4		2	
	学術ゼミ（東洋） A～F	2・3・4		2	
	学術ゼミ（西洋史） A～F	2・3・4		2	
	学術ゼミ（国文学） A～F	2・3・4		2	
	学術ゼミ（美学） A～F	2・3・4		2	
	学術ゼミ（社会学） A～F	2・3・4		2	
	学術ゼミ（国際政治） A～F	2・3・4		2	

区分	授業科目	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
自由科目	C群	学術ゼミ (法学) A~F	2・3・4		2	1年次における英語特論の履修は、別に定める基準を満たし、許可された場合に限る。
		学術ゼミ (文化人類学) A~F	2・3・4		2	
		学術ゼミ (発達心理) A~F	2・3・4		2	
		学術ゼミ (臨床心理) A~F	2・3・4		2	
		学術ゼミ (数理科学) A~F	2・3・4		2	
		学術ゼミ (環境学) A~F	2・3・4		2	
		学術ゼミ (学習科学) A~F	2・3・4		2	
		学術ゼミ (民族学) A~F	2・3・4		2	
		学術ゼミ (地域研究) A~F	2・3・4		2	
		英語特論 I A~F	1・2・3・4		2	
		英語特論 II A~F	1・2・3・4		2	
		英語特論 III A~F	1・2・3・4		2	
		英語特論 IV A~F	1・2・3・4		2	
		英語特論 V A~F	1・2・3・4		2	
		英語特論 VI A~F	1・2・3・4		2	
		英語特論 VII A~F	1・2・3・4		2	

注1：備考欄の単位数は、各々の区分において卒業要件となる修得単位数である。

注2：一般教育科目については、卒業要件となる単位として、40単位以上を修得しなければならない。

生物資源学部専門教育科目の履修

生物資源学部専門教育科目の履修方法（創造農学科）

1 卒業に必要な単位数

専門教育科目は、必修科目および選択科目（A群、B群、C群、D群）からカリキュラムが編成されており、それぞれの科目群から所定の単位を修得する必要がある。

卒業に必要な単位数は、次のとおりである（具体的な授業科目については、後記「カリキュラム表」参照）。

必修科目		38単位
選択科目	A群	8単位以上
選択科目	B群	8単位以上
選択科目	C群	8単位以上
計		84単位以上

2 履修上の留意事項

卒業論文の履修条件

卒業論文を履修することができるのは、本学に3年以上在学し、かつ、次のいずれかの一に該当する者に限られる。

なお、3年次編入の場合は、本学に1年以上在学し、かつ、次のいずれかの一に該当する者に限られる。

- ① 卒業の要件となる単位（卒業論文に係る単位を除く。）を修得している者
- ② 履修を届け出た学年終了後に、卒業の要件となる単位（卒業論文に係る単位を除く。）を修得できる見込みのある者

3 オナーズプログラム

オナーズプログラムとは、専門教育科目について、より深く、広い専門的知識を有する人材となるために、卒業要件単位数以上の履修を自主的に選択できる制度である。

所定の単位数を修得し、かつその履修した専門科目の平均点が85点以上であるときに、オナーズプログラム履修証書が授与される。

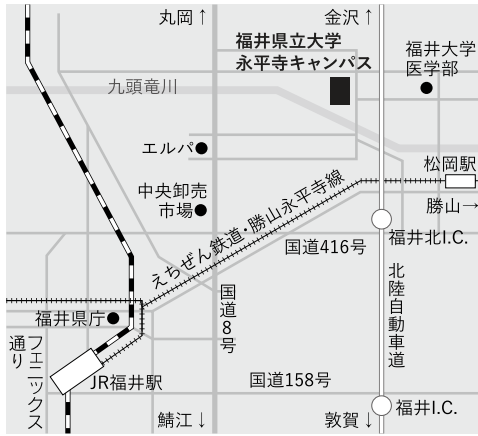
なお、3年次編入の場合は、3年次が開始する年度の4月末までに、オナーズプログラム履修申請書により、教育推進課に申し出ること。

カリキュラム表(20年度入学生用)

創造農学科 卒業要件単位数 84単位

(20年度入学生用)

授業科目の名称		配当年次	単位数		備考	卒業要件単位数
			必修	選択		
必修科目	食農環境・文化概論	1	4			38単位
	総合農学	1	8			
	実践農業英語	1	4			
	食農環境実習Ⅰ	1	2			
	食農環境演習Ⅰ	1	4			
	食農環境実習Ⅱ	2	2			
	食農環境演習Ⅱ	2	4			
	専攻演習	4	2			
	卒業論文	4	8			
選択科目	A群	農業インターンシップⅠ	1・2・3	1		8単位以上
		農業インターンシップⅡ	1・2・3	1		
		食品加工実習	3	1		
		蔬菜園芸学実験	3	1		
		花卉園芸学実験	3	1		
		果樹園芸学実験	3	1		
		育種学実験Ⅰ	3	1		
		育種学実験Ⅱ	3	1		
		植物保護学実験	3	1		
		微生物利用学実験	3	1		
		地域農政学実験	3	1		
		B群	蔬菜園芸学	1・2・3	2	
花卉園芸学	1・2・3		2			
果樹園芸学	1・2・3		2			
作物学	1・2・3		2			
施設園芸学	1・2・3		1			
育種学Ⅰ	1・2・3		2			
育種学Ⅱ	1・2・3		2			
雑草管理学	1・2・3		2			
微生物利用学	1・2・3		2			
C群	先端農業技術活用論		1・2・3	2		8単位以上
	総合的の生物多様性管理論	1・2・3	2			
	地域農政論	1・2・3	2			
	地域森林利用論	1・2・3	2			
	農業戦略論	1・2・3	2			
	農業市場論	1・2・3	2			
	農業経営論	1・2・3	2			
D群	土壌学	1・2・3	2			
	応用気象学	1・2・3	2			
	農薬化学	1・2・3	2			
	植物病理学	1・2・3	2			
	動物資源学	1・2・3	2			
	農産物利用学	1・2・3	2			
	食品化学	1・2・3	2			
	食品衛生学	1・2・3	2			
	植物栄養学	1・2・3	2			
	生態学Ⅰ	1・2・3	2			
	生態学Ⅱ	1・2・3	2			
	森林生理・生態学	1・2・3	2			
	植物生理学Ⅱ	1・2・3	2			
	遺伝学Ⅱ	1・2・3	2			
	分子生物学Ⅰ	1・2・3	2			
	分子生物学Ⅱ	1・2・3	2			
	分子生物学Ⅲ	1・2・3	2			
	応用微生物学Ⅰ	1・2・3	2			
	応用微生物学Ⅱ	1・2・3	2			
	生物有機化学	1・2・3	2			
	地圏環境学	1・2・3	2			
	地学概論	1・2・3	2			

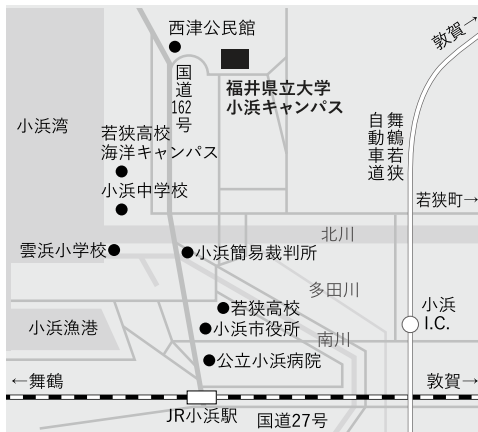


【永平寺キャンパス】 Eiheiji campus

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL:0776-61-6000(代)
FAX:0776-61-6012

map&access

- 京福バス
 - ・JR 福井駅西口バスターミナル
大学病院線「県立大学」下車(所要時間約40分)
- 乗用車
 - ・JR 福井駅より約20分
 - ・北陸自動車道 福井北I.C.より約10分



【小浜キャンパス】 Obama campus

〒917-0003 福井県小浜市学園町1-1
TEL:0770-52-6300(代)
FAX:0770-52-6003

map&access

- コミュニティバス
 - ・JR小浜駅よりバス(あいあいバス)で約10分、
「西津公民館前」下車徒歩15分
- 乗用車
 - ・JR小浜駅より約10分
 - ・舞鶴若狭自動車道 小浜I.C.より約5分



【あわらキャンパス】 Awara campus

〒910-4103 福井県あわら市二面88-1
TEL:0776-77-1443(代)
FAX:0776-77-1448

map&access

- 乗用車
 - ・永平寺キャンパスより約40分
 - ・北陸自動車道 金津I.C.より約15分



2022年4月 OPEN

【かつみキャンパス】 Katsumi campus

〒917-0116 福井県小浜市堅海49-8-2
TEL:0776-61-6000(代) 経営戦略課(永平寺キャンパス内)
FAX:0776-61-6011

map&access

- コミュニティバス
 - ・JR小浜駅よりバス(あいあいバス)で約20分、
「堅海」下車
- 乗用車
 - ・小浜キャンパスより約15分
 - ・舞鶴若狭自動車道 小浜I.C.より約20分



ロゴマークについて

- ・福井県の鳥で、学章にも使用されている“つぐみ”をイラスト化し、くちばしには県立大学の木である、白樫をくわえています。
- ・福井県立大学が「実は百年」であることを、県民の皆様にご理解いただき、次の100年に向かって、“羽ばたく”願いを込めています。

※本学は、1920年に設置された福井県農業試験場内の【福井県農業技術員養成課程】が始まりです。

問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

福井県立大学 入学試験本部（入試企画室）

〒910-1195

福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

Tel 0776-68-8297

Fax 0776-61-6012

電話受付時間：午前9時～午後5時

（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）

Eメール nyusi@fpu.ac.jp